

TAKAMATSU
HISTORICAL
MUSEUM
annual report

高松市歴史資料館 年報
平成27年度 No.18

目 次

I 展示

1 常設展.....	02
2 企画展.....	04
3 テーマ展	06
4 ロビー展	06

II 教育普及

1 サンクリスタル学習	08
2 学習室展示	09
3 講座	09
4 博物館実習	11
5 広報活動	11

III 資料整備

1 収集	12
2 貸出・特別利用.....	13
3 高松市収蔵品情報システム.....	13
4 ボランティア活動	13

※敬称は省略しています。

1 常設展

常設展示では、基本テーマを「瀬戸内海に育まれた高松の人々と暮らし」とし、高松の原始から現代にいたるまでの歴史と文化の変遷を通観できるようにしている。高松のすばらしさを知り、理解を深めてもらうのが目的である。

展示手法としては、各時代における特徴的な事象をテーマにすえ、実物資料・レプリカ・模型の展示だけでなく、映像資料・グラフィック等も駆使して、観覧者の知的要求に応じられるように特色ある展示構成を図っている。

また、別室のプレイミュージアム（学習室）では、パソコンなどを使って、高松の歴史や文化の情報を楽しみながら学べるよう工夫している。

なお、展示資料は、新収蔵資料による展示替えや資料の保存を考慮して随時入替えを行っている。

常設展示室

	テーマ	サブテーマ
プロローグ	海を渡る	
原始・古代	高松平野の成立	・高松最初の人類
	稲作の発展と高松	・稲作前史 ・稲作のムラ
	石清尾山古墳群	・古代の国際交流 ・高松の古墳文化 ・古代山城 屋嶋城
	仏教文化と高松	・高松平野の奈良時代 ・花開く仏教文化
中世	源平合戦と屋島	・屋島合戦
	武士の活躍と高松	・荘園と農民 ・讃岐国守護細川氏 ・戦国武将
近世	城下町高松の発展	・高松城築城 ・香東川と栗林荘 ・高松城主松平家 ・高松の上水道 ・城下の賑わい
	讃岐三白と交通	・讃岐三白 ・港町高松 ・街道と海運
	町人文化と高松	・高松の教育 ・町人文化と暮らし

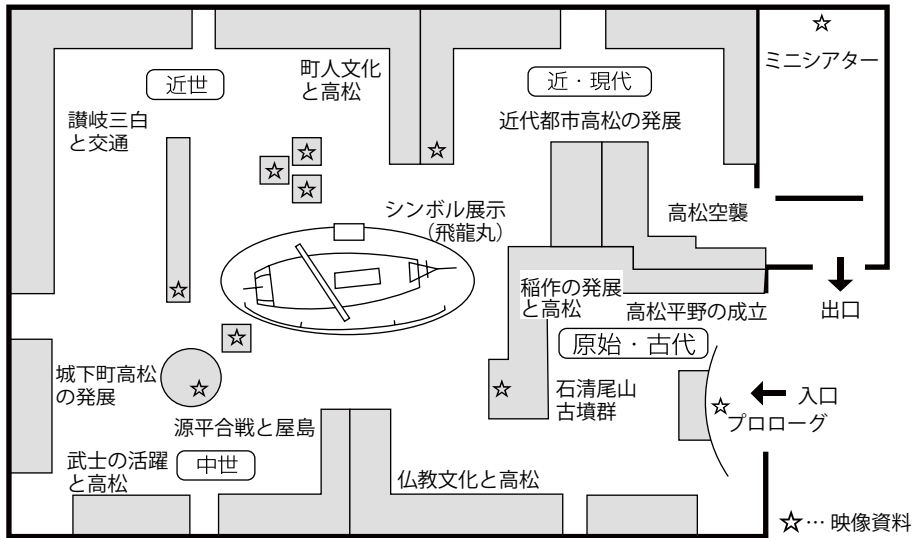
	テーマ	サブテーマ
近・現代	近代都市高松の発展	・文明開化の時代 ・高松市の誕生 ・連絡船の時代 ・市民の生活
	高松空襲	・戦時体制 ・高松の戦災
ミニシアター	高松訪ね歩記	

映像資料

映像種類等	映像資料名
プロローグ	海を渡る
総覧映像	高松歴史ニュース
詳細映像	〔原始・古代〕 高松平野の姿 旧石器時代の生活 縄文時代の生活 稲作のムラ 石清尾山古墳群 積石塚古墳と盛土古墳 条里のムラを歩く 〔中世〕 兵庫北関入船納帳にみる交易 戦国の世の高松 ― 悲劇の城 喜岡城

映像種類等	映像資料名
詳細映像	〔近世〕 再現された飛龍丸 城下町の賑わい 木村黙老と「聞ままの記」 高松城下町の変遷 ・塩田風景 ・城下の井戸 ・丸亀町筋と常磐橋 ・高松藩の藩船 ・石清尾八幡神社 ・本丸と天守閣 ・寺町筋 ・東浜舟入と内町五町 〔近代・現代〕 文明開化の先駆者「川崎舎竹郎」 大正デモクラシーと伏石事件 高松砂漠
ミニシアター 「高松訪ね歩記」	・塩江美術館に行く ・女木島に行く ・庵治石を訪ねて ・中央球場を訪ねて ・盆栽を訪ねて ・ガソリンカーを訪ねて ・庵治・純愛の聖地を訪ねて ・石清尾山古墳群を訪ねて ・ため池と伝説を訪ねて～三郎池・平地編～ ・柴野栗山を訪ねて ・御厩焼を訪ねて ・遍路道を訪ねて ・屋島を訪ねて ・香川漆器を訪ねて ・男木島を訪ねて ・町並みを訪ねて～仏生山・香西編～ ・高松港周辺を訪ねて ・香東川を訪ねて ・披雲閣を訪ねて ・菊池寛を訪ねて ・五色台を訪ねて ・西浜を訪ねて ・保多織を訪ねて ・丸亀町を訪ねて
ファンタビュー	源平屋島合戦

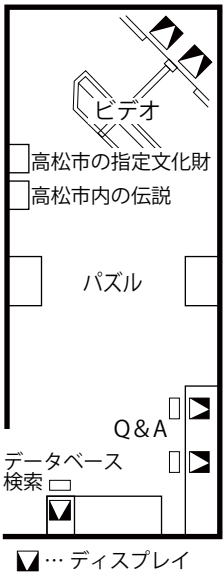
常設展示室



プレイミュージアム(学習室)

コーナー	映像資料名
ビデオ	・水の武術「水任流泳法」 ・高松市の伝統工芸 ～玉椿象谷と美しき漆芸の世界～ ・高松市の文化財Ⅰ ・へんろ道を歩く ・平家伝説を訪ねて ～悲劇の落人たち～ ・忘れかけた手作り遊び ～親子のふれあい～ ・高松の祭礼 ・失われゆくふるさとの手仕事 ～日傘と紙すき～ ・高松市の文化財Ⅱ ～仏像彫刻の世界～ ・古代との対話 ～高松平野の遺跡発掘～ ・失われつつある手仕事「炭焼き」 ・讃岐が誇る文人画家「長町竹石」 ・古代の瓦～瓦が解き明かす歴史～ ・古代の城～屋島に刻まれた歴史～
Q&A	・たかまつのれきしクイズ ・おやこでたのしむ香川の民話 ・高松の古い絵葉書コレクション
データベース検索	高松市ウェブミュージアム
高松市の指定文化財 高松市内の伝説	
パズル（高松市の地図）	

プレイミュージアム
(学習室)



2 企画展

当館は毎年度、核となる事業として企画展を3回ほど開催している。平成27年度は2回開催し、「見たい 知りたい 屋島の戦い」、「讃岐医人伝―合田求吾から柏原謙益・神内由己まで―」において讃岐にゆかりが深い伝説や人物、史跡等を展示・紹介した。各回の開催にあたり、下記の機関から後援をいただいた。

朝日新聞高松総局・RSK山陽放送・RNC西日本放送・NHK高松放送局・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・産経新聞社高松支局・四国新聞社・TSCテレビせとうち・毎日新聞高松支局・読売新聞高松総局

高松市合併10周年記念・源平合戦屋島の戦い830周年記念
第69回企画展

見たい 知りたい 屋島の戦い

高松市の屋島・古高松・庵治・牟礼は源平合戦屋島の戦いの地として有名であり、屋島には年間50万人の観光客が訪れる本市を代表する観光地の一つである。

今を去ること830年前にこの地を舞台として源平合戦屋島の戦いが行われた。源氏による内裏の占拠、その後の矢合戦、源義経の身代わりとなり討ち死にする佐藤継信、那須与一の扇の的、義経の弓流しなど、数々のエピソードが展開された屋島は、歴史の舞台として、多くの方々が知るところとなっている。

現在においても、人々に語り継がれ、屋島・古高松・庵治・牟礼の地が源平合戦の史跡とされているのは、初代高松藩主松平頼重による史跡整備・顕彰活動をはじめ、地元の方々や関係者の努力によるところが大きいと考えられる。

本展では、平成18年1月の合併により、これらの史跡がすべて高松市内となったことから高松市合併10周年及び源平合戦830周年を記念して、屋島の戦いを当館所蔵資料から展観し、その魅力を見て、知って、楽しんでいただける機会となるような構成にした。

・歌川芳虎筆《讃州屋嶋源平大合戦之図》	当館蔵
・橋本周延筆《屋島の役》	当館蔵
・土佐光祐筆《牟礼高松図》	当館蔵
・狩野休圓筆《那須与一扇の的図》	当館蔵
・扇面《嗣信の最期》	洲崎寺蔵

関連イベント

- パネルディスカッション
(サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール)
 - ・「源平合戦 屋島の戦い」／11月22日(日)午後1時30分～／パネリスト:田中健二(香川大学名誉教授)・千葉幸伸(高松市歴史民俗協会会長)・前川佳代(奈良女子大学古代学学術研究センター協力研究員) コーディネーター:藤井雄三(高松短期大学講師)／参加人数140人
- ワークショップ
 - ・「源平合戦の地を訪ねる」
11月29日(土)午前9時～12時／講師:当館職員／参加者20人
- ミュージアムトーク(企画展示室)
会期中の日曜午前10時30分～／展覧会担当者及び歴史資料館サポーター／計10回／参加人数延べ86人

会 期 平成27年10月17日～12月20日(56日間)
観覧者数 2,594人(うち有料観覧者数445人)



▲ポスター

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)
- ・図録(A4横・31頁)



▲図録



▲展示風景



▲「源平合戦の地を訪ねる」

第70回企画展
讃岐医人伝―合田求吾から柏原謙益・神内由己まで―

会 期 平成28年2月6日～3月21日(39日間)
観覧者数 766人(うち有料観覧者数139人)

江戸時代の医療は薬学・本草学が中心であった。讃岐においても高松5代藩主松平頼恭が栗林荘内に薬園を設け、平賀源内らを管理にあたらせるなど、国内各地から薬草を採取させた。

旧来の医療が大きく変化するのは、山脇東洋による日本最初の解剖書である『蔵志』や前野良沢・杉田玄白による『解体新書』が刊行されてからとなる。その後、西洋医学の実験的実証性への関心が高まり、讃岐の医人においても、先進の医療技術を取得するため盛んに長崎へ遊学し、その技術を讃岐へ持ち帰った。これらの遊学者の中には、合田求吾や柏原謙好・謙益父子のように医業の傍ら多くの門弟を育てた者もいた。また讃岐内の活躍に止まらず、神内由己のように中央へ出て全国的に活躍する者も見られた。

本展では、讃岐の医人のうち、近世から近代にかけて活躍した合田求吾、柏原謙益、神内由己を中心として取り上げ、その業績を紹介した。

主な展示資料

- ・山脇東洋著『蔵志』宝暦9年(1759) 香川大学図書館神原文庫蔵
- ・平賀源内著『物類品鑑』宝暦13年(1763) 当館蔵
- ・合田求吾著『紅毛医言』(写本) 鎌田共済会郷土博物館蔵
- ・「三谷家伝来医療器具」江戸時代 個人蔵
- ・大槻玄沢著『重訂 解体新書』 順天堂大学蔵
- ・『鷗岡先生著述正骨図』江戸時代 個人蔵
- ・神内由己著『医家袖宝』明治14年(1881) 個人蔵

関連イベント

- 開展記念講演会
(サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール)
 - ・「解体新書から始まった近代医学への道」／2月6日(土)午前10時～11時30分／講師:酒井シヅ(順天堂大学名誉教授・特任教授)／参加者77人
- 講演会
(サンクリスタル高松3階・視聴覚ホール)
 - ・「讃岐医家伝」
2月27日(日)午後1時30分～3時／講師:西岡幹夫(香川医科大学名誉教授)／参加者130人
- ミュージアムトーク(企画展示室)
会期中の日曜午前10時30分～／展覧会担当者及び歴史資料館サポーター／計7回／参加者延べ43人



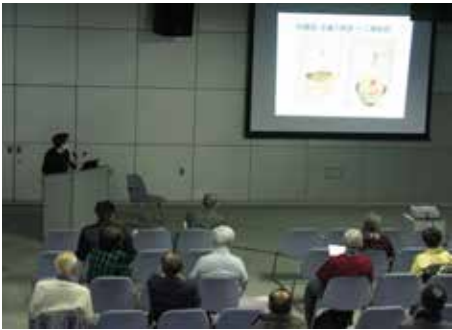
▲ミュージアムトーク



▲ポスター

印刷物

- ・ポスター(B2)
- ・チラシ(A4)
- ・図録(A4縦・43頁)



▲開展記念講演会(講師:酒井シヅ)



▲展示風景

3 テーマ展（収蔵品展など）

収蔵品展
れきしに会うⅡ～新収蔵品で知る人と風景～

■ 会 期
平成27年4月18日～5月24日(32日間)

■ 観覧者数
721人(うち有料観覧者数135人)

印刷物

- ・チラシ(A4)

▲チラシ



関連イベント

- 講演会(サンクリスタル高松 3 階 第 1 集会室)
・「文人画と南画について～新収蔵品を踏まえて～」
5月9日(土)午後1時30分～3時
／講師:田淵元博(藤井学園寒川高校教諭)
／参加者30人
- ワークショップ(サンクリスタル高松 3 階 第 1 集会室)
・「水墨画にチャレンジ!」
5月16日(土)午後1時30分～3時
／講師:穴田豊久(当館館長)／参加者21人
- ミュージアムトーク(企画展示室)
会期中の日曜午前10時30分～
／展覧会担当者及び歴史資料館サポーター
／計6回／参加者延べ43人



▲ワークショップ

当館では、高松市に関する歴史・美術工芸・民俗・考古資料を収集している。ここ数年においては、讃岐の誇る文人画家・長町竹石をはじめ、江戸時代に讃岐で活躍した芸術家たちの作品、高松藩主にゆかりのある資料、郷土玩具などを中心に収蔵した。展覧会では、これらの新しい資料約100点を展示し、その由来などを紹介した。また、新しく市指定文化財となった「刀 銘讃州住盈永」の初公開を行った。歴史資料館の資料収集について多くの方々に御理解いただき、たくさんの「れきしに会う」機会となるような構成とした。

4 ロビー展

01 「商店街あの頃この頃」展 4/1～5/24

前年度末から開催している収蔵品展「ああ商店街」にあわせて、商店街の思い出をアンケートに記入してもらい、展示・紹介した。



02 「昭和の暮らしを体験しよう」展 5/28～6/4

昭和30～40年代の暮らしの様子を再現し紹介した。



03 「ふりつち」展 6/6～7/12

讃岐おもちゃの会会報誌「ふりつち」復刊を記念して、既刊101冊全点を展示・紹介した。



04 「高松空襲写真」展 7/14～8/2

70年前の高松空襲について、写真や資料を展示・紹介した。



05 「涼を求めて」展 8/4～8/23

大小さまざまなうちわを展示・紹介した。



06 「YASHIMA過去～未来」展 10/6～12/20

企画展「見たい 知りたい 屋島の戦い」の関連企画として、洲崎寺所蔵の屋島の観光絵葉書やYASHIMA元気をつくらう会の活動等を展示・紹介した。



07 香川県資料館協議会主催事業巡回展「守る・攻める・城と館」 11/10～11/29

香川県資料館協議会の巡回展として、県内の古城についてパネル展示・紹介した。



08 「復興を支える仕事-発掘調査を通じた東日本大震災の被災地支援-」展 12/22～4/10

本市の埋蔵文化財を通じた被災地支援の様子を展示・紹介した。



09 「えんぎもの」展 12/25～1/31

干支の申の郷土玩具を展示・紹介した。



10 「柳園コレクション」展 2/9～4/3

高松藩の有力な家臣大久保家の侍医であった庵原柳園の屏風のメクリを展示・紹介した。



「開かれた資料館」を目指し、当館では教育普及に積極的に取り組み、資料を通して市民との対話に努めている。そのひとつに、郷土の歴史をより楽しみながらよく知るために、学校教育との連携を図り、市内の小学生を対象に行う「サンクリスタル学習」を実施している。また、生涯学習の場として、「夏休みこども歴史講座」をはじめ様々な講座などを開催するとともに、博物館実習を希望する学生の受け入れをし、学芸員の養成に寄与している。

1 サンクリスタル学習

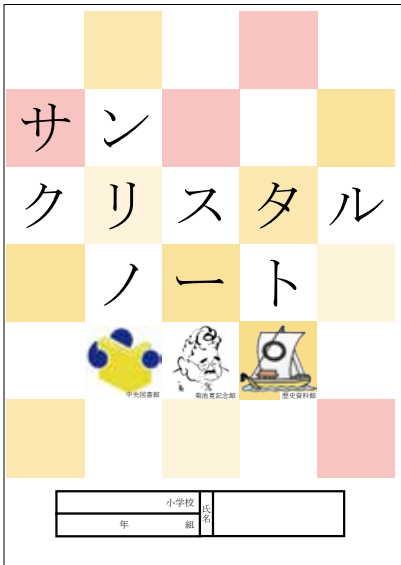
当館 (4F) は、図書館 (1・2F) と菊池寛記念館 (3F) との複合館で、「サンクリスタル高松」の名称で呼ばれている。この複合館という利点を生かし、より充実した学習内容と効果をめざすため、市内の小学生を対象とした「サンクリスタル学習」を平成5年度から当館が事務局となり実施している。

展示資料を活用し、分かりやすく歴史を伝え、親しんでもらうために、また、小学生が興味を持って資料に接することができるように、学習の際の補助的な教材として「サンクリスタルノート」を作成している。また、展示解説の際には、校区にある遺跡や古墳などの話を織り交ぜ、興味深く歴史学習ができるように努めている。

平成26年度からは、午後からの補助学習として「屋島学習」を行い、屋嶋城等の現地説明を行っている。サンクリスタル学習を実施するにあたり、各小学校の担当教諭を集めて説明会を開くとともに、それぞれ学習実施前には綿密な事前打合せを行っている。また、必要に応じて各小学校の利便性を考慮し、大型バス等の手配をしている。

サンクリスタル学習参加校

6月	屋島小学校	77名
	林小学校	105名
	鬼無小学校	63名
	木太小学校	91名
	川東小学校	71名
	屋島東小学校	24名
7月	木太北部小学校(6年)	99名
	下笠居小学校	56名
	古高松南小学校	100名
	牟礼小学校	53名
	木太北部小学校(4年)	79名
8月	古高松小学校	120名
	川岡小学校	55名
	香南小学校(5年)	70名
	円座小学校	114名
	十河小学校	116名
9月	香西小学校	92名
	木太南小学校	132名
	檀紙小学校	102名
	香南小学校(6年)	75名
	花園小学校	48名
	屋島西小学校	89名
10月	弦打小学校	92名
	川島小学校	89名
	川添小学校	88名
	多肥小学校	200名
	牟礼北小学校	86名
	男木小学校	3名
11月	国分寺北部小学校	110名
	塩江小学校	32名
	大野小学校	70名
	国分寺南部小学校	146名
	植田小学校	15名
	1月 前田小学校	41名
12月	2月 鶴尾小学校	26名
	合計	35校 2,829名



2 学習室展示

■ 主催事業

「不況を照らす光明・全国産業博覧会」

昭和3年(1928)に高松市主催で開催された全国産業博覧会は、県内でも博覧会開催の機運が高まっていたこと、また高松港が竣工間近であったことに後押しされて行われた。

本展では、高松市で開催された全国産業博覧会の様子を、当館所蔵資料を中心に、約70点の写真を使用したパネルによって紹介した。

また、後期展として「大博覧会RETURNS～懐かしの観光高松大博覧会～」を展示し、昭和24年(1949)3月20日～5月20日の2ヵ月間に渡って開催された「観光高松大博覧会」の様子を、当時の地図や写真によって振り返った。

期間:前期 平成27年6月18日 ～ 平成27年11月19日
後期 平成27年11月20日 ～ 平成28年3月31日



▲ポスター

3 講座

■ 主催事業

夏休みこども歴史講座

郷土高松の歴史をもっと知りたい・学びたいと思う小中学生のためにテーマを決め、現地見学を行う講座を開催した。

城下町を歩いて高松城へいこう！

高松市埋蔵文化センターと共同開催し、高松城まで歩いた後、歴史資料館で資料作成を行った。
7月30日／講師:高松市埋蔵文化財センター担当者
／参加者:延べ46人(補助者含む)



▲講座風景



古文書講座

実際の古文書を題材に取り上げ、講師を招いて「古文書に暮らしをさぐる」と題し、古文書に親しむ講座を開催した。

9月17日・10月15日・11月19日・12月17日・1月21日・2月18日・3月17日／講師:三谷敏雄／参加者:7回延べ401人



▲講座風景

歴史クイズにチャレンジしよう！

春休み・夏休み・冬休みの期間、中学生以下の子どもを対象に、菊池寛記念館と共同で、展示物にちなんだクイズを出題し、歴史や資料館に親しんでもらうことを目的に開催した。
参加者:延べ363人(春90人・夏204人・冬69人)

■ サポート事業

サポーター養成講座及び活動

サポーターによる展示解説のための事前研修を実施し、必要な能力を培った。

講座名	期日
4月例会	4月19日
5月例会	5月10日
6月例会	6月7日
7月例会	7月5日
8月例会	8月2日
9月例会	9月6日
10月例会	10月18日
11月例会	11月11日
1月例会	1月13日
2月例会	2月7日
3月例会	3月2日

活動名	期日（いずれも午前10時30分～）	内容
■ 収蔵品展 「あゝ商店街～高松アーケード・メモリー～」 ミュージアムトーク	4月 5日	展示会場にて展示解説
■ 収蔵品展 「れきしに会おうⅡ～新収蔵品で知る人と風景～」 ミュージアムトーク	4月 19・26日 5月 3・10・17・24日	展示会場にて展示解説
■ 高松市合併10周年源平合戦屋島の戦い830周年記念 第69回企画展 「見たい 知りたい 屋島の戦い」 ミュージアムトーク	10月 18・25日 11月 1・8・15・22・29日 12月 6・13・20日	展示会場にて展示解説
■ 第70回企画展 「讃岐医人伝―合田求吾から柏原謙益・神内由己まで―」 ミュージアムトーク	2月 7・14・21・28日 3月 6・13・20日	展示会場にて展示解説

■ 共催事業

講座名	期日	講師	参加人数
■ 讃岐村塾			
源平合戦	5月23日	藤井雄三（高松短期大学秘書科講師）	24
空海の思想―1200年の時空を超えて	6月27日	竹内信夫（東京大学名誉教授）	120
F．シラーの観点からみた歌舞伎・文楽の悲劇	7月25日	土屋盛茂（香川大学名誉教授）	36
モノづくり王国・讃岐の夢	8月22日	竹内守善（香川県地域振興参与）	35
夏目漱石と長尾雨山	9月26日	田山泰三（英明高校教諭）	38
西回り航路と塩飽廻船 （市民文化財教室と共催）	10月24日	山本秀夫（香川県立津田高校教諭）	56
「岡山・旧閑谷学校と美観地区に行く」 （県外研修）	11月28日	―	35
東日本大震災復興旧工事に伴う埋蔵文化財 調査派遣職員からの報告（岩手県宮古市）	12月19日	波多野篤（高松市埋蔵文化財センター文化財専門員）	29
古文書に親しむ	1月23日	三谷敏雄（古文書講座講師）	42
讃岐医家伝 ―讃岐十大医家について―	2月27日	西岡幹夫（香川医科大学名誉教授）	130
讃岐三木郡の種痘医 神内喬木とその子 由己について	3月26日	太田剛（四国大学文学部書道文化学科教授）	66

4 博物館実習

博物館学芸員資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館実習を行った。

7月28日～8月2日（6日間） 計1人

5 広報活動

館の情報を広く周知し利用促進を図るため、リーフレット・ポスター・チラシ等を高松市内外の関係施設や観光案内所・ホテル等へ配布したほか、インターネットで各種展示・講座の案内、資料紹介、高松の歴史や文化に関する様々な情報提供を積極的行った。

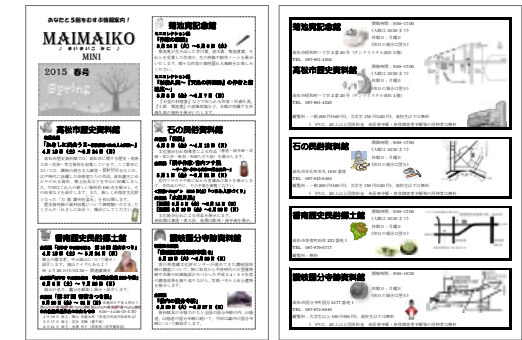
また、当館・菊池寛記念館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の 5 館の取り組みや市民との活動を伝える『高松市資料館だより maimaiko(まいまいこ)』を年1回、5館の展示やイベント予定を掲載した『maimaiko mini(まいまいこ みに)』を年4回発行した。

■ maimaiko（まいまいこ）



▲第9号（2016年3月発行）

■ maimaiko mini（まいまいこ みに）



▲2015年春号

資料整備は、資料館の最も基本的な機能で、かつ重要な役割を占めるものである。

資料の収集・整理・保存を行うことにより、資料館にとって最大の財産である収蔵資料に厚みを増すことができる。これによって常設展示の展示替え、また調査研究を通して企画展示等の方法で市民に還元し、貴重な文化財産を次世代に伝えていく使命を持つ。収集方法としては、購入・寄贈・移管・寄託等がある。

1 收集

■ 購入

10件

資料名	作者・著者名	時代・制作年	員数	全体法量 (cm)	品質
美術工芸 絵画					
虎図	三木算柳	江戸時代	1 幅	縦 179.0 横 56.6	和紙・絹
美術工芸 版画					
和田邦坊手摺木版画 (第 27・29・30・31・32・34・36 ・38・39 回)	和田邦坊	昭和時代	9 点	縦 38.4 ～ 53.4 横 40.5 ～ 54.4	和紙

■ 寄贈・移管

※掲載の順序は、寄贈手続き順による

6件

つまみ人形セット	1 点
盈永文書	1 点
三字経ほか	2 点
讃岐國高松図ほか	6 点
写真資料ほか	6 点
狩野常真《朝陽図》	1 点

■ 寄託

0件

2 貸出・特別利用

■ 貸出

3件

分類番号	資料名	出品展覧会	会場	会期
L.0072	百相廃寺出土瓦	「ミニ文化祭」	百相ヶ丘団地	平成27年6月20日～6月21日
S.0019	刀 無銘 伝江義弘 (号 芦葉江)	「真剣少女の日本刀展」	備前長船刀剣博物館	平成27年7月18日～9月13日
S.0020	革包鬼丸造拵 (芦葉江の拵)			
T.0456	二行書 (松平頼儀筆)	「本陣に泊まった大名たちⅡ」	豊橋市二川宿本陣資料館	平成27年10月3日～11月15日
O.0008	梅下鳳凰図 (松平頼恕筆)			
T.0061	一行書 (松平頼胤筆)			
T.0062	五言一行書 (松平頼胤筆)			
T.0257	七言書「涼聲度竹風如雨」 (松平頼胤筆)			
W.0095	殿様御上京御行列御供人数書	高松府秘記・江戸御道中行列・ 御上京御道中行列		
W.0145	高松府秘記・江戸御道中行列・ 御上京御道中行列			
JB.0004	讃岐松平藩 御座船用筆筭	讃岐松平藩 御座船用筆筭		
JB.0005	讃岐松平藩 御座船用筆筭			

■ 特別利用

70件

3 高松市収蔵品情報システム

歴史資料館、美術館、平和記念室、菊池寛記念館の収蔵品及び文化財課所管の出土品等のデータを一元管理し、公開可能なものについてインターネットにより広く公開する「高松市収蔵品情報システム」（高松市ウェブミュージアム）を構築するとともに、積極的な運用を図っている。



<http://www.takamatsu-webmuseum.jp/>

4 ボランティア活動

■古文書解読ボランティア

当館で収蔵する古文書等の資料については、平成 10 年度末から本格的に整理分類に着手している。しかし、一連の作業の中核として古文書の解読にあたる職員等の絶対数が不足しており、作業の円滑な進捗が懸念されるため、当館主催の古文書講座の受講生を中心に史料の解読をお手伝いしていただき、一定の成果をあげている。27 年度は書状・戯作などの資料解読をしていただいた。

参加人数:8人

資料編

管理運営

1	設置目的	02
2	建設基本構想	02
3	沿革	02
4	施設概要	03
5	組織と業務	03
6	関係法規	05
7	統計資料	09
8	利用案内	12

1 設置目的

本市の歴史・考古・民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため。

2 建設基本構想

(1) 資料館の基本理念及び性格

- ア 基本理念
郷土の文化遺産を収集し、学術的な体系のもとに整理・保管・展示をして、市民の利用に供し、市民の生涯学習と文化の継承発展に資する。
- イ 性格
 - (ア) 歴史・考古・民俗等の各分野の資料を収集、保管して、伝承できる施設とする。
 - (イ) 高松市の文化財の保護及び利用の中心的役割を果たし、文化向上に寄与しうる施設とする。
 - (ウ) 親しみやすく利用しやすい資料館として運営・活動を行い、市民の郷土学習の場としての役割を担う施設とする。
 - (エ) 学校教育と密接な関係を持ち、児童生徒が体験学習を行える施設とする。
 - (オ) 高松市の歴史と文化に関する情報をコンピュータに集積するとともに、他機関とのネットワーク化を図り、これらの情報を提供する施設とする。

(2) 資料館の機能

- 資料館は、展示、教育普及を中心とし、次の目的をもった機能を有するものとする。
- ア 展示機能
高松市を特徴づけるテーマを選定し、収集資料を中心に展示する。
- イ 教育普及機能
高松市の歴史と文化に関して学校教育との連携を図るとともに、生涯教育の場の提供と普及活動を行う。
- ウ 収集機能
高松市に関する歴史・考古・民俗等各資料を収集する。
- エ 整理保管機能
重要な歴史・考古・民俗等の資料を中心に整理し、保管する。
- オ 調査研究機能
収集資料及び高松市の歴史と文化に関する調査・研究を行う。

(3) 資料館の規模・内容

- ア 建設計画の基本的な考え方
市民が気軽に出入りでき、くつろいだ雰囲気の中で郷土の歴史と文化に親しめるとともに、障害者、高齢者にも配慮した施設とする。
また、観覧者と職員の動線が交わらないように収蔵品、展示品の搬入、搬出に配慮し、維持管理及び保守点検が容易な施設とする。
収蔵品、展示品については、その安全性を確保するため、防犯・防火に備えるとともに、空気調整等により虫、菌、カビ、塵埃及び湿度対策を行う。
さらに、ニューメディア、コンピュータの急速な進展等、将来の変化に対応できるよう融通性を持った施設とする。
- イ 建設規模
個性的な資料館にするとともに、展示、教育普及を中心に、

収集、整理保管、調査研究等の諸機能が有機的に連携し、円滑に作動するよう延床面積は、おおむね次のとおりとする。
【建物延床面積 2,000 m²程度】
※大量に出土が見込まれる一般的な考古資料、民俗資料等の整理保管の施設については、別途確保とする。

(4) 資料収集の基本方針

- 資料の収集については、次のとおり計画し、実施する。
- ア 高松市教育委員会が発掘調査した出土遺物のうち、重要な遺物については資料館に保管する。
- イ 国、県及び市指定の文化財所有者の協力を得て、資料収集をする。
- ウ 学識経験者、郷土史愛好グループ、一般市民等の情報提供により、文化財の所在データを作成し、必要により所有者の協力を得て収集する。
- エ 移動できないもの、消滅したもの及び無形のものについては、写真、図面、ビデオ等によって資料収集をする。
- オ 収集は、寄贈、寄託、購入等による。

3 沿革

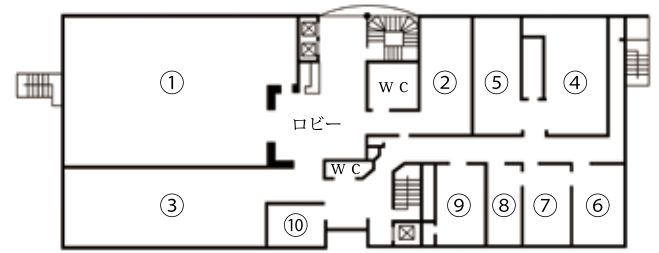
昭和 56 年 9 月	第2次高松市総合計画で、郷土資料の収集、保存、活用を図るために、郷土資料館の建設の検討が計画された。
昭和 59 年 3 月	学識経験者、文化団体関係者からなる高松市文化振興会議で郷土資料館の建設の提案がなされた。
昭和 61 年 6 月	史跡石清尾山古墳群整備基本計画策定計画書に、石清尾山古墳群に関連する郷土資料館建設が記載された。
昭和 62 年 6 月	高松市歴史民俗協会から、歴史民俗博物館設立の要望があった。
10 月	市制施行 100 周年記念事業計画会議から、100 周年記念事業の基本構想及び基本計画のなかで、歴史民俗資料館建設の提言があった。
12 月	市制施行 100 周年記念事業基本構想・基本計画で記念施設の一つとして、歴史民俗資料館建設が決定された。
昭和 63 年 2 月	高松市図書館・歴史民俗資料館整備庁内連絡会を設置した。
7 月	高松市立歴史民俗資料館（仮称）建設検討懇談会を設置した。
平成元年 2 月	高松市立歴史民俗資料館（仮称）建設検討委員会から高松市歴史民俗資料館（仮称）基本構想報告書が提出された。教育民生調査会を開催した。
3 月	高松市立歴史民俗資料館（仮称）建設基本構想を策定した。
5 月	高松市歴史民俗資料館（仮称）展示基本構想研究会を設置した。
6 月	教育民生調査会を開催した。
平成元年 9 月	展示基本計画・基本設計を業務委託した。
平成 2 年 3 月	教育民生調査会を開催した。
7 月	教育民生調査会を開催した。
9 月	展示実施設計業務委託・映像資料設計業務を委託した。

10 月	起工式
平成 3 年 7 月	常設展示室等展示業務を委託した。
平成 4 年 7 月	建物工事が竣工した。高松市歴史資料館条例を制定。正式名称を「高松市歴史資料館」とした。
4 月	事務局を開設した。
7 月	教育民生調査会を開催した。
11 月	3 日（文化の日）に開館
平成 18 年 1 月	近隣 6 町との合併により、新しく石の民俗資料館、香南歴史民俗郷土館、讃岐国分寺跡資料館を管轄し、その事務を担当する。

4 施設概要

名 称	高松市歴史資料館 (中央図書館・菊池寛記念館と併設)		
所 在 地	高松市昭和町一丁目 2 番 20 号		
敷地面積	3,921 m ²		
建物構造	鉄筋コンクリート造・地下 2 階・地上 4 階建・塔屋		
建築面積	2,492 m ²		
延床面積	11,330 m ²		
	うち歴史資料館部分 (4 階)	1,925 m ²	
	共用部分 (エントランスホール・機械室・階段・エレベーター等)	3,544.93 m ²	
各室一覧	① 常設展示室	503 m ²	
	② プレイミュージアム (学習室)	99 m ²	
	③ 企画展示室	263 m ²	
	④ 第 1 収蔵庫	115 m ²	
	⑤ 第 2 収蔵庫	93 m ²	
	⑥ スタジオ	61 m ²	
	⑦ 調査研究室	65 m ²	
	⑧ 資料室	48 m ²	
	⑨ 事務室	65 m ²	
	⑩ 展示備品室	—	

平 面 図



工事関係一覧	[監理] 高松市土木部建築課 [設計管理] (株) 梓設計 [建設工事] 大成・大林・鴻池・合田建設共同企業体 [給排水衛生設備工事] ナミレイ・サン技研建設共同企業体 [電気工事] 浅海・昭和・大よし共同企業体 [空調調和設備工事] 高砂熱学工業・朝日工業社・雉鳥工業共同企業体 [昇降機設備工事] 日本オーチスエレベータ [立体駐車場工事] 石川島播磨重工業 [展示業務] (株) 乃村工藝社
--------	--

5 組織と業務

高松市歴史資料館は、高松市・高松市教育委員会が建設し、管理運営を行っている。事務局は、創造都市推進局文化財課歴史資料館業務係におかれ、正規職員と非常勤嘱託職員から構成されている。
資料館は、高松市歴史資料館条例及び同施行規則に基づいて活動しており、組織については、高松市歴史資料館処務規定に基づいている。さらに、資料館の適正な運営を図るため、高松市歴史資料館等協議会を年 1 回開催している。
資料の取扱いについては、高松市歴史資料館資料取扱要綱に基づいて、適切に対処している。さらに、重要な資料の収集にあたっては高松市歴史資料館資料収集審査会条例に基づき、同審査会に諮問し、その答申に沿って収集している。

■ 業務内容

- 常設展示の運営、管理
- 館内庶務及び予算事務
- 企画展の開催
- 教育学習に関する事業
- 資料収集、整理、保管
- 資料に関する調査研究と情報提供
- 資料に関する解説書、図録、目録、研究報告書等の刊行
- 資料の利用に関する助言、指導
- 歴史資料館等協議会事務
- 他の資料館、関係機関、団体との協力
- その他資料館が行う事業

■ 合併による文化施設編入について

平成 17 年度の市町合併により、下記の三館を高松市歴史資料館が統括することになり、菊池寛記念館とともに協力し合って新しい事業展開を図っている。

- 石の民俗資料館
高松市牟礼町牟礼 1810 番地 Tel.087-845-8484
五剣山南麓の「石匠の里公園」の中核施設であり、石材産業の民俗資料を収集・展示する全国でも例のない資料館。ジオラマ展示や体験学習広場を設けるなど楽しみながら石と触れ合うことができる。また、各種の企画展や講座も開催。
- 香南歴史民俗郷土館
高松市香南町由佐 253 番地 1 Tel.087-879-0717
南北朝時代、足利尊氏に属して功績を挙げた由佐秀助という武将がこの地を賜り、京都から讃岐に渡って由佐城を築城した。この郷土館は、その居城跡に、城の土塁といわれるものや古い屋敷の庭石、樹木の一部を大切に活かして庭を造り、城をかたどって創られた施設。
- 讃岐国分寺跡資料館
高松市国分寺町国分 2177 番 1 Tel.087-874-8840
国分寺跡保存整備事業の一環として建設された資料館で、発掘調査で出土した瓦・土器・金属器などを展示。映像学習室ではアニメーションを取り入れた讃岐国分寺跡の歴史ビデオを放映。また、国分寺跡史跡公園には、奈良唐招提寺と同規模の金堂、七重の塔など、天平文化の粋を集めて造られた讃岐国分寺の伽藍配置模型（ $\frac{1}{10}$ ）を設置。

■名簿

高松市歴史資料館等協議会			職員		
(平成26年11月3日～平成28年11月2日)			27年度	館長	穴田豊久
学識経験者	丹羽佑一	香川大学名誉教授		業務係長	山元敏裕
	田中健二	香川大学名誉教授		主任主事	小林有希子
関係団体役員	安倍幸則	香川県小学校教育研究会 高松支部社会科部会役員 (H27年4月1日～)		主任主事	今池 薫
	土井敏生	香川県中学校教育研究会 高松支部社会科部会役員		非常勤嘱託職員	中條亜希子 松本有貴 廣瀬杏子 香川依央 長谷井めぐみ 左海きほ
	宮本康子	高松市歴史民俗協会事務局 役員			
	太田明美	高松市PTA連絡協議会 役員			
その他	荒木ヨシ子	讃岐国分寺跡資料館 友の会役員			
	松下桂子	元香南歴史民俗郷土館 運営協議会委員			
	奥谷義明	文化協会むれ会長			
公募	田所なよ子				
	谷本 亘				

6 関係法規

高松市歴史資料館条例

平成4年3月27日条例第19号

- (設置)
- 第1条 本市の歴史、考古、民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するため、高松市歴史資料館（以下「資料館」という。）を高松市昭和町一丁目2番20号に設置する。
- (事業)
- 第2条 資料館は、前条に規定する資料館の設置目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。
- (1) 本市の歴史、考古、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）の収集、保管及び展示を行うこと。
- (2) 本市の歴史、考古、民俗等に関する調査研究を行うこと。
- (3) 本市の歴史、考古、民俗等に関する展覧会、講演会等を開催すること。
- (4) 本市の歴史、考古、民俗等に関する情報を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、資料館の設置目的を達成するために必要な事業
- (観覧料)
- 第3条 資料館の展示を観覧しようとする者は、別表に規定する観覧料を納付しなければならない。
- (観覧料の返還)
- 第4条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）が特別の理由があると認める場合は、返還することができる。
- (観覧料の減免)
- 第5条 市長は、委員会において必要があると認める場合は、観覧料を減額し、又は免除することができる。
- (利用の制限)
- 第5条の2 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。
- (1) 秩序を乱し、若しくは公益を害し、又はそのおそれがあると認められる者
- (2) 資料館が展示若しくは保管をしている資料又は資料館の施設・設備等を損傷し、若しくは滅失し、又はそのおそれがあると認められる者
- (3) その他資料館の管理上支障があると認められる者
- (損害賠償)
- 第6条 資料館の入館者が、自己の責めに帰すべき理由により、資料又は資料館の施設・設備等を損傷し、又は滅失したときは、委員会の指示に従い、その損害を賠償しなければならない。
- (高松市歴史資料館等協議会への諮問)
- 第7条 委員会は、第2条各号に掲げる事業に関する基本的な事項については、高松市歴史民俗分野及び美術分野社会教育施設協議会条例（平成20年高松市条例第29号）に規定する高松市歴史資料館等協議会に諮問するものとする。
- (職員)
- 第8条 資料館に館長その他必要な職員を置く。
- (委任)
- 第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。
- 附 則
- この条例は、平成4年11月3日から施行する。ただし、第8条の規定は、規則で定める日から施行する。（平成4年高松市規則第15号により、同年4月1日から施行）
- 附 則（平成11年7月14日条例第19号）
- この条例は、公布の日から施行する。
- 附 則（平成12年3月27日条例第6号）
- この条例は、平成12年4月1日から施行する。
- 附 則（平成20年3月26日条例第29号抄）
- (施行期日)
- 1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則（平成22年3月26日条例第7号）
- この条例は、平成22年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

区分	観覧料(1人1回につき)	
	個人	団体(20人以上)
一般	200円	160円
大学生	150円	120円

備考

- 1 「一般」とは 15 歳以上の者（大学生及び備考 2 の規定の適用を受ける者を除く。）をいい、「大学生」とは学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する大学その他これに準ずるものに在学する者をいう。
- 2 就学年齢に達しない者又は学校教育法第 1 条に規定する小学校、中学校若しくは高等学校に在学する者若しくは委員会がこれらに準ずると認める者は、無料とする。

高松市歴史資料館条例施行規則

平成 4 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号

（趣旨）

第 1 条 この規則は、高松市歴史資料館条例（平成 4 年高松市条例第 19 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第 2 条 高松市歴史資料館（以下「資料館」という。）の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、展示室及び学習室への入室は、午後 4 時 30 分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

（休館日）

第 3 条 資料館の休館日は、次のとおりとする。

- （1）月曜日（その日が、国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。）
- （2）12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

2 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は開館することができる。

（観覧券の交付）

第 4 条 条例第 3 条の規定による観覧料の納付があったときは、観覧券（様式第 1 号）を交付する。

（観覧料の返還）

第 5 条 条例第 4 条ただし書に規定する観覧料を返還することができる場合は、天災地変その他観覧料を納付した者の責めによらない理由で観覧できなくなったときとする。

2 観覧料の返還を受けようとする者は、高松市歴史資料館観覧料返還申請書（様式第 2 号）を速やかに教育委員会（以下「委員会」という。）に提出しなければならない。

（観覧料の減免）

第 6 条 条例第 5 条に規定する委員会において観覧料の免除を必要と認める場合は、次のとおりとする。

- （1）学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する小学校、中学校、高等学校その他これらに準ずるものの児童または生徒が教育課程に基づく教育活動の一環として展示を観覧する場合において、これらの者の引率者が展示を観覧するとき。
- （2）65 歳以上の者で、長寿手帳（香川県が交付する手帳をいう。）、免許証その他の年齢を証する書面を所持するものが、展示を観覧するとき。
- （3）身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者が、展示を観覧するとき。
- （4）療育手帳制度要綱（昭和 48 年 9 月 27 日厚生省発児第 156 号厚生事務次官通知）に規定する療育手帳の交付を受けた者が、展示を観覧するとき。
- （5）精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者が、展示を観覧するとき。

2 前項第 1 号の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ委員会に申請しなければならない。

3 第 1 項第 2 号から第 5 号までの規定により観覧料の免除を受けようとする者は、観覧の際、職員に当該各号に掲げる手帳等を提示しなければならない。

4 第 1 項に規定するもののほか、観覧料の減免を必要と認める場合は、委員会が特別の理由があると認めるときとする。

（入館者の遵守事項）

第 7 条 資料館の入館者（以下「入館者」という。）は、次の事項を守らなければならない。

- （1）資料館が展示若しくは保管をしている本市の歴史、考古、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）に触れないこと。
- （2）他の入館者に迷惑となる行為をしないこと。
- （3）所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- （4）火気を使用しないこと。
- （5）危険物又は動物を持ち込まないこと。ただし、身体障害者が同伴する身体障害者補助犬については、この限りでない。

（6）物品等の販売又は展示、びら等の配布その他これらに類する行為をしないこと。

（7）許可なく資料の撮影をしないこと。

（8）その他資料館の職員の指示に従うこと。

（損傷等の届出）

第 8 条 入館者が、資料又は資料館の施設・設備等を損傷し、又は滅失したときは、高松市歴史資料館資料・施設・設備等損傷・滅失届（様式第 3 号）を直ちに委員会に提出しなければならない。

（委任）

第 9 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規則は、平成 4 年 11 月 3 日から施行する。

附 則（平成 10 年 9 月 28 日教委規則第 3 号）

この規則は、平成 10 年 11 月 3 日から施行する。

附 則（平成 11 年 7 月 14 日教委規則第 7 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 12 年 3 月 27 日教委規則第 3 号）

この規則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 13 年 11 月 30 日教委規則第 10 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 14 年 9 月 27 日教委規則第 7 号）

この規則は、平成 14 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年 7 月 28 日教委規則第 9 号抄）

この規則は、平成 17 年 8 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 3 月 31 日教委規則第 9 号）

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 3 月 26 日教委規則第 7 号）

この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 11 月 25 日教委規則第 14 号）

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

高松市歴史民俗分野及び美術分野社会教育施設協議会条例

平成 20 年 3 月 26 日条例第 29 号

（設置）

第 1 条 歴史、民俗及び美術に関する社会教育のための公の施設の運営に関し調査審議するため、教育委員会（以下「委員会」という。）に、歴史及び民俗の分野並びに美術の分野ごとに協議会を置く。

（名称）

第 2 条 前条の協議会（以下「協議会」と総称する。）の名称は、高松市歴史資料館等協議会（以下「歴史資料館等協議会」という。）及び高松市美術館協議会（以下「美術館協議会」という。）とする。

（所掌事項）

第 3 条 協議会は、それぞれ次に掲げる公の施設の運営に関し、委員会の諮問に応じて調査審議する。

（1）歴史資料館等協議会 高松市歴史資料館、高松市石の民俗資料館、高松市香南歴史民俗郷土館及び高松市讃岐国分寺跡資料館

（2）美術館協議会 高松市美術館及び高松市塩江美術館

2 美術館協議会は、高松市美術館に関しては、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 20 条第 1 項に規定する博物館協議会とし、前項に規定するもののほか、同条第 2 項の規定により美術館協議会の権限に属させられた事項を処理する。

この場合においては、前項中「委員会」とあるのは、「館長」とする。

（組織）

第 4 条 協議会は、歴史資料館等協議会にあっては委員 11 人以内、美術館協議会にあっては委員 15 人以内で組織する。

2 協議会の委員は、それぞれ次に掲げる者のうちから、委員会が委嘱する。

（1）歴史資料館等協議会 次のアからウまでに掲げる者

ア 学識経験のある者

イ 関係団体の役員

ウ ア及びイに掲げる者のほか、委員会が必要と認める者

（2）美術館協議会 次のアからエまでに掲げる者

ア 学校教育及び社会教育の関係者

イ 家庭教育の向上に資する活動を行う者

ウ 学識経験のある者

エ アからウまでに掲げる者のほか、委員会が必要と認める者

- (委員の任期)
- 第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 委員は、再任されることができる。
- (会長及び副会長)
- 第6条 協議会にそれぞれ会長及び副会長1人を置く。
- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- (会議)
- 第7条 協議会の会議は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。
- 2 協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 前項の場合において、議長は、委員として議決に加わることができない。
- (幹事)
- 第8条 協議会にそれぞれ幹事若干人を置く。
- 2 幹事は、委員会の職員のうちから、委員会が任命する。
- 3 地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の7の規定により第3条第1項各号に掲げる公の施設の運営に関する事務を市長の補助機関である職員に補助執行させる場合における前項の規定の適用については、同項中「委員会の職員」とあるのは「市職員」と、「任命する」とあるのは「任命し、又は委嘱する」とする。
- 4 幹事は、協議会に出席し、調査審議事項について意見を述べることができる。
- (委任)
- 第9条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。
- 附 則
- (施行期日)
- 1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例の施行の際、現に附則第5項の規定による改正前の高松市歴史資料館条例（平成4年高松市条例第19号）第7条の規定により委嘱された高松市歴史資料館運営協議会の委員である者並びに現に附則第9項の規定による改正前の高松市美術館条例（昭和63年高松市条例第10号）第18条及び博物館法第21条の規定により委嘱された高松市美術館協議会の委員である者は、この条例の施行の日に、第4条第2項の規定により、それぞれ歴史資料館等協議会の委員及び美術館協議会の委員として委嘱されたものとみなす。
- 3 この条例の施行の日以後最初に委嘱される委員（前項の規定により歴史資料館等協議会又は美術館協議会の委員に委嘱されたものとみなされる者を含む。）の任期は、第5条第1項本文の規定にかかわらず、歴史資料館等協議会の委員にあっては平成20年11月2日まで、美術館協議会の委員にあっては平成21年6月30日までとする。
- 附 則（平成21年3月25日条例第7号）
- この条例は、平成21年7月1日から施行する。
- 附 則（平成24年3月27日条例第39号）
- この条例は、平成24年7月1日から施行する。

7 統計資料

■ 企画展他観覧者数

展覧会名	有料(人) 一般	大学生	無料(人) 一般	高校生以下	合計(人)	日数
収蔵品展 「れきしに出会うⅡ～新収蔵品で知る人と風景～」	132	3	391	195	721	32
高松市合併10周年記念・源平合戦屋島の戦い830周年記念 第69回企画展「見たい 知りたい 屋島の戦い」	420	25	1,022	1,127	2,594	56
第70回企画展 「讃岐医人伝－合田求吾から柏原謙益・神内由己まで－	131	8	545	82	766	39
ロビー展等					15,732	305

■ 特別展・企画展等実績（各年度経過）

年度	展覧会名	開催日数 （日間）	観覧者 総 数(人)	一日平均 観覧者数(人)
平成4年	第1回特別展 開館記念 仏生山法然寺の名宝展	19	5,245	276
	第2回特別展 大地から見た高松の歴史	30	2,920	97
平成5年	第3回特別展 讃岐の文人画展	56	4,340	78
	第4回特別展 開館1周年記念 名刀が語る日本刀の歴史展	32	3,615	113
平成6年	第5回特別展 高松平野の考古学のあけぼの－小竹一郎旧蔵資料展	43	4,122	96
	第6回特別展 写真が語る高松のあゆみ	56	3,063	55
平成7年	第7回特別展 開館2周年記念 描かれし美の世界－讃岐に関する画人・作品を中心に	43	3,798	88
	第8回特別展 鏡の美－讃岐出土・伝来の和鏡を中心として	50	3,493	70
平成8年	第9回特別展 讃岐一宮 田村神社の名宝展	54	4,068	75
	第10回特別展 開館3周年記念 北斎・広重から棟方志功まで－町田市立国際版画美術館所蔵品を中心に	38	3,852	101
平成9年	第11回特別展 讃岐の古瓦展－白鳳・天平の甍	50	3,140	63
	第12回特別展 高松市歴史資料館コレクション展－美術・考古・民俗資料編	49	2,897	59
平成10年	第13回特別展 開館4周年記念 名刀展－鐵の匠	50	5,167	103
	第14回特別展 高松埋蔵文化財展	48	3,533	74
平成11年	第15回特別展 全国郷土玩具展－樋口準一氏寄贈玩具を中心として	44	2,422	55
	第16回特別展 開館5周年記念 水戸徳川家の名宝展	25	4,109	164
平成12年	第17回特別展 馬の文化展－讃岐を駆けぬけた馬たち	50	2,850	57
	第18回特別展 たかまつ香西のまつり	41	2,115	52
平成13年	第19回特別展 弘恵寺の名宝展	26	2,749	106
	第20回特別展 源平合戦図絵の世界	26	2,310	89
平成14年	第21回特別展 幻の宮伊勢斎宮－王朝の祈りと皇女たち	22	3,467	158
	第22回特別展 讃岐の古画にみる動物たち	40	1,189	30
平成15年	第23回特別展 野球王国・高松が生んだ宿命のライバル－水原茂と三原脩の野球人生	38	2,819	74
	館外展示 矢島で屋島展－生駒親正公の開いた高松と源平屋島合戦（矢島町郷土資料館）	22	1,708	78
平成16年	収蔵品展 古文書に見る人々の暮らし	38	1,210	32
	平成12年 収蔵品展 栗田コレクション展	32	917	65
平成17年	第24回特別展 山田地区の文化財－川島・十河・東植田・西植田に伝えられた品々	38	2,288	60
	第25回特別展 高松市市制施行110周年記念事業・文化財保護法50年記念 芦葉江と名刀展	38	2,465	65
平成18年	第26回特別展 高松市市制施行111周年記念事業 秋田県矢島町と生駒氏	38	2,288	60
	平成13年 収蔵品展 拓本展	32	772	24
平成19年	第27回特別展 怪童・中西太展	38	1,421	37
	第28回特別展 高松市市制施行111周年記念事業・高松市の111周年	44	2,338	53
平成20年	第29回特別展 近世の高松画壇～御用絵師と文人を中心に～	38	1,238	33

年度	展覧会名		開催日数 (日間)	観覧者 総 数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
平成 14 年	収蔵品展	弓の名手・那須与一展	38	1,040	27
	第 30 回特別展	メモリー [映画・映像の文化]	39	886	23
	第 31 回特別展	開館 10 周年記念 彦根藩主 井伊家の名宝 ―華麗なる大名道具の数々	30	2,225	74
	第 32 回特別展	林・三谷地区の文化財	32	1,654	52
平成 15 年	企画展	ある収集家のコレクション展	26	574	22
	共催展	高松自動車道全線開通記念埋蔵文化財展 讃岐横断 101km	30	1,118	37
	第 33 回特別展	ヒーローズ [昭和のイラスト・特撮の世界]	51	1,730	34
	第 34 回特別展	高松城と栗林園	32	1,893	59
平成 16 年	第 35 回特別展	歴史と現代の対話―広告・宣伝の文化史	44	1,560	35
	収蔵品展	殿様の書状	32	559	17
	第 36 回特別展	印刷メディアあれこれ―近代の教育がみえる	38	650	17
	第 37 回特別展	仏生山・多肥地区の文化財	44	1,904	43
平成 17 年	第 38 回特別展	讃岐の文人・後藤漆谷の書跡とその周辺	38	788	21
	収蔵品展	コレクション大公開―歴史資料館の錦絵	32	994	31
	第 39 回特別展	名刀芦葉江と讃岐の刀	38	1,759	46
	第 40 回特別展	源義経と源平合戦	38	1,944	51
平成 18 年	第 41 回特別展	嵐徳三郎の世界	38	1,430	38
	収蔵品展	新たに仲間となりました	26	1,282	49
	第 42 回特別展	武士の装い	35	3,511	100
	第 43 回特別展	戦前の教育者群像	45	4,163	93
平成 19 年	収蔵品展	栗山とその周辺	34	1,026	30
	第 44 回特別展	ことばとかたちの歴史	38	1,566	41
	企画展	高松城跡天守台発掘速報展	38	782	21
	第 45 回特別展	渡辺コレクション展	38	2,018	53
平成 20 年	第 46 回特別展	万葉を愛した人物・中村一作展	38	788	20
	共催巡回展	発掘へんろ―遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波	27	880	33
	第 47 回特別展	布をめぐる旅―込められた物語・歴史・表現	38	3,074	81
	収蔵品展	れきしに出会う―新収蔵品で知る人と風景	38	673	18
平成 21 年	第 48 回特別展	近代香川の人物譜―菊池寛と同じ時代を生きた人々	38	1,725	46
	第 49 回特別展	人形の・夢・見ゆるひと	38	1,634	43
	第 50 回特別展	近代をつくった大工棟梁―高松の大工久保田家とその仕事	38	1,188	32
	共催巡回展	発掘へんろ―遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波	26	620	24
平成 22 年	収蔵品展	長町竹石 文人画の世界	38	855	23
	収蔵品展	高松市内の遺跡発掘調査速報展―弥生土器に見るムラの暮らし	38	507	14
	第 51 回特別展	資料館がすいぞくかん! ?―造形にみる水のいきものたち	38	1,312	35
	企画展	旅する文人 細川林谷―その書画と篆刻	38	1,443	38
平成 23 年	第 52 回特別展	対決・協調 カップルズ	38	1,411	38
	第 53 回特別展	民具と生活、それぞれの四季	39	572	15
	収蔵品展	ここまでわかった高松城天守―史料と発掘成果から往時の姿を探る―	38	937	25
	第 54 回企画展	郷土・高松に伝えられた至宝～高松市内の指定文化財～	26	1,927	75
平成 24 年	第 55 回企画展	ものがたりをよむ方法―伊勢・源氏・平家物語を楽しもう―	38	1,451	39
	収蔵品展	あそびのこころ―昔おもちゃの魅力を知る―	38	1,495	40
	第 56 回企画展	左近さんが居た幕末―松平頼該とその周辺―	42	1,374	33
	収蔵品展	高松ご城下井戸物語―発掘された江戸時代 高松の上水道施設―	38	1,040	27
平成 25 年	第 57 回企画展	魅せる―錦絵にみる女性の内なる美―	31	1,262	41
	第 58 回企画展	知の体系―江戸時代にやってきた自然科学―	38	1,734	46
	第 59 回企画展	馬場景泉展―現代花鳥画の精華―	38	1,971	52
	収蔵品展	もんよう玉手箱～れきし・かたち・いろいろ～	38	1,024	27

年度	展覧会名		開催日数 (日間)	観覧者 総 数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
平成 24 年	第 60 回企画展	高松平野の災害史―地震と水害の歴史に学ぶ防災―	38	1,177	31
	収蔵品展	新収蔵品展―讃岐人の筆―	32	1,036	33
	第 61 回企画展	久保桑閑とその時代	38	1,814	48
	第 62 回企画展	兵たちの物語～絵画に見る源平合戦～	39	2,151	56
平成 25 年	収蔵品展	大名家漆原の調度と生活	38	1,773	47
	第 63 回企画展	古今高松大物産展～うまげなもん ようけあるけん 見に来まい～	32	1,549	48
	第 4 回古代山城サミット 高松大会開催記念 企画展	屋嶋城が築かれた時代	38	2,230	59
	第 64 回企画展	知の巨人 藤澤東峯展～没後 150 年記念～	39	2,591	66
平成 26 年	第 65 回企画展	M A P S ～古地図の楽しみ方～	38	1,663	44
	第 66 回企画展	再発見！桃太郎の世界	32	1,147	36
	第 67 回企画展	船と鉄道～四国の玄関口・高松の交通機関史～	32	1,823	57
	第 68 回企画展	輝きの備前名刀展	38	1,770	47
平成 27 年	史跡・天然記念物 屋島指定 80 周年記念 企画展	屋島―シンボリックな大地に刻まれた歴史―	39	2,168	56
	収蔵品展	あゝ商店街～高松アーケード・メモリー～	50	2,253	45
	収蔵品展	れきしに出会うⅡ～新収蔵品で知る人と風景～	32	721	23
	高松市合併 10 周年記念・源平 合戦屋島の戦い 830 周年記念 第 69 回企画展	見たい 知りたい 屋島の戦い	56	2,594	47
平成 28 年	第 70 回企画展	讃岐医人伝―合田求吾から柏原謙益・神内由己まで―	39	766	20
平成 29 年					
平成 30 年					
平成 31 年					

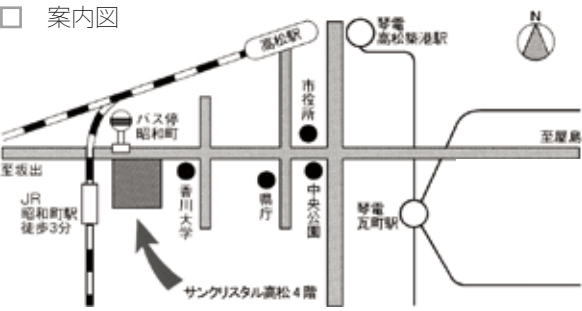
8 利用案内（平成 28 年 4 月 1 日現在）

- 開館時間

9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日

月曜日(休日の場合は翌日)
年末・年始(12月29日～翌年1月3日)
- 観覧料

一般 200円(160円) 大学生 150円(120円)
高校生以下は無料 ※()内は20人以上団体料金



■ 石の民俗資料館

高松市牟礼町牟礼1810番地 TEL:087-845-8484

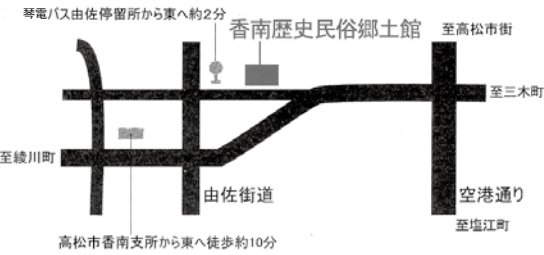
開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：月曜日(休日の場合は翌日)
観覧料：一般 200円(160円) 大学生 150円(120円)
高校生以下は無料
※()内は20人以上団体料金



■ 香南歴史民俗郷土館

高松市香南町由佐253番地1 TEL:087-879-0717

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日：月曜日(休日の場合は翌日)
観覧料：無料



■ 讃岐国分寺跡資料館

高松市国分寺町国分2177番地1 TEL:087-874-8840

開館時間：9:00～16:30
休館日：月曜日(休日の場合は翌日)
観覧料：大学生以上 100円(80円)
高校生以下は無料
※()内は20人以上団体料金



高松市歴史資料館年報 平成27年度 No.18

編集 (高松市歴史資料館)
デザイン (高松市歴史資料館)
発行 平成28年9月 高松市歴史資料館
〒760-0014 高松市昭和町一丁目 2 番20号
TEL 087(861)4520・FAX 087(837)9114
URL <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/23506.html>

USTAMAKAT
JACIROTSHI
MUSEUM
annual report

2015.Apr
|
2016.Mar